

11/23 播磨農高の乳牛が全国大会で優勝



▲より美しく見せるため、牛を丁寧に洗う乳牛クラブのメンバー。拭き取り、ブラッシングも欠かしません。

播磨農高の生徒が育てる乳牛 2 頭が、それぞれの出場部門で優勝しました（表紙参照）。

大会に同行した原明樹さん、田中伽委さん、堀田充洋さん、安藤真奈美さん、山下真生さんは、「引き手の心が牛に伝わります。練習と同じように平常心で歩かせることができました」「先輩や指導をしてくれた方々のおかげです。一生懸命、面倒を見たかいがありました」などと話してくれました。

11/29 第66回加西市小学校連合音楽会



▲「明日の空へ」(作曲者・ミマス)を合唱する北条東小学校の児童。

市民会館文化ホールで音楽会が開催され、市内の 11 小学校の 6 年生（一部 5 年生含む）が、応援に駆けつけた保護者らを前に、素晴らしい合奏や合唱を披露しました。

児童たちは、リズムにのってうたい出すと緊張がほぐれ、体を使って表現するなど、友達と心をひとつに練習してきた成果を大舞台上で発揮し、観客を魅了しました。

12/9 まずは親から縁結び「ふるさと婚親会」



▲プロフィールを見みながら、お目当ての相手を探す参加者。

加西市は、親同士のお見合い「ふるさと婚親会」をフラワーセンターで開催しました。独身の男性の親 20 人と女性の親 19 人が参加しました。

人生経験豊富な親同士が子どもに代わって、相手のプロフィールを見みながら、お見合いをしました。

最初は緊張気味でしたが、時間が経つにつれて多くの方が積極的に会話をし、最後に気に入った相手の親に連絡先を手渡しました。

12/10 願いを込めた干支「へび」が出現



▲「うろこを 1 枚ずつ貼るのに苦労した」とへびのオブジェを作った山本さん（左）と中村さん。

北条鉄道・播磨横田駅北側に、山本六良太夫さん（東横田町）と中村利寛さん（西剣坂町）が、約 1 カ月かけて作製した全長 7m・直径 15cm の干支「へび」のオブジェが出現しました。

「景気が回復してほしい。みんなが元気になってほしい」と願いを込め、わらを束にした胴体に、直径 2 cm の円形にくりぬいたビニール材数千枚のうろこを貼って、ニシキヘビを作り上げました。

12/1 わらを編むのに悪戦苦闘



▲お正月を楽しみに、しめ縄作りにチャレンジする参加者。

お正月のしめ縄作り教室が、オークタウン加西で開催されました。

講師のシルバー人材センターの高井照夫さん（北条町古坂）と朝田語さん（別府町）が、参加者 20 人に輪が 2 つあるしめ縄・めがね（輪飾り）作りなどを指導しました。

参加者は、わらを編むのに四苦八苦しながらしめ縄を作り上げ、家に飾るのを楽しみにしていました。

12/8 サンタさんと一緒に 1 時間の小旅行



▲天井いっぱいにツリーやブーツでクリスマスの飾り付けをした列車内で、サンタ・トナカイに興奮する子どもたち。

北条鉄道は 12 月 3 日から 24 日まで、大人気の「サンタ列車」を運行。列車は、片道 13.6km ある北条町駅と粟生駅を往復しました。

サンタやトナカイの着ぐるみを着た、ボランティアの兵庫教育大学の学生らが、歌やゲームなどをして車内を盛り上げました。子どもたちは、サンタからクリスマスプレゼントをもらったり、いっしょに写真を撮ったりして、1 時間の小旅行を楽しみました。

12/12 美味しいお餅がつけました



▲ 2 人 1 組で声をかけながら、仲良く餅をつく園児。

日吉幼稚園の園児 44 人が、日吉神社（池上町）で行われた、古代米の赤米を使った「餅つき大会」に参加しました。

園児は 2 人 1 組になって「ぺったんこ。ぺったんこ」と声をかけながら餅をつきました。

その後、好きな大きさに餅をちぎって丸め、家に帰って、つくたての餅を家族と一緒に食べるのを楽しみにしていました。

12/18 魅力あるまちづくりに貢献



▲「鶉野中町花家族の会」の会員が同町内にある沿道広場の花壇に、チューリップの球根植えなどを行いました。写真は 12 月 5 日。

神戸市で開催された「第 14 回人間サイズのまちづくり賞」の表彰式で、花と緑であふれるまちづくりや景観形成の推進などに貢献した次の 3 団体が、兵庫県から表彰されました。

知事賞 鶉野中町花家族の会（尾花幸雄代表）
奨励賞 はばタンの風（田井敏司代表）
横尾歴史街道つどいの会（水田加代子代表）